

弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

No.	27	-	3	事務事業名	がん検診等事業	細事務事業名	がん検診等事業	公的関与	1	シート作成日	平成30年6月6日		
課名	健康推進課		グループ	保健予防		担当課長名		飯田宏基		シート作成者名	丸山淳二		
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
	<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ				実施計画		事業の開始・終了					
	施策項目	健康づくり・医療体制の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		年度 ~ 平成		年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	主要施策	健康診査・指導等の充実				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		健康増進法			
個別計画													
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)								
	がん検診等を受診する機会のない市民				各種がん検診等の機会を提供し、がんの早期発見、早期治療によりがん撲滅を図ります。								
事業の内容	胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん・前立腺がんの検診を個別及び集団方式で実施しています。												
成果指標	①	指標名	受診者数				②	指標名					
		指標設定の考え方	がんの早期発見のため受診者数を指標とする。平成29年度より対象者に受診券を発送したことで受診者数が増加したため、平成30年度目標を10,200に修正しました。					単位	人				
	実績	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	実績	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度			
	目標	9351	10115	※	10200	目標			※	目標			
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	4	衛生費	項	1	保健衛生	目	6	保健事業費
	直接事業費	国・県支出金		平成 28 年度決算額		平成 29 年度決算額		平成 30 年度予算額					
				1,050 千円		3,192 千円		2,822 千円					
		地方債											
		その他特定財源											
		一般財源		46,488 千円		49,720 千円		64,140 千円					
	計(A)		47,538 千円		52,912 千円		66,962 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費		1,919 人		1,918 人		2,066 人						
			13,241 千円		13,234 千円		14,255 千円						
	臨時職員工数・経費		0.333 人 533 千円		0.333 人 533 千円		0.333 人		533 千円				
全体事業費(A+B)		61,312 千円		66,679 千円		81,750 千円							

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価					
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	がんの早期発見を行ない、早期治療に結びつけるため必要です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	毎年受診することにより、検診の習慣化を促し受診者数の向上につなげます。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		対象者に受診券を発送したことにより受診者数が増加しました。部位による差異はあるが、十分に達成できています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	有効な検診方法を絶えず検討し、がん検診の効率化、高品質化を図る必要があります。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価				
		3	4	4	4	A	3	4	4	4	A				
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等						
	当面の課題	死亡原因の第1位を占めるがんの早期発見・早期治療に結びつけるため、受診率の向上を図ることが急務です。そのための有効な周知方法を考えていかなければなりません。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
課題解決のための改善計画	受診者の受診状況をみながら、検診予定数、受付方法などの見直しや、PR方法を工夫して受診者の拡大に努めます。					・これまでの受診勧奨の方法を改め、がん検診対象者に受診券を発送したことは受診者数増加に大きく寄与しました。今後は予約の方法を工夫してください。 ・依然として、がんでの死亡率は高く、早期発見が大切である旨の啓発を積極的に実施し、がん検診の受診率の向上に努める必要があります。									
備考															